



Copyright © 2017 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 前提条件
  - 2.3. 検証済み環境
  - 2.4. 対象読者
  - 2.5. 注意事項
- 3. 概要
  - 3.1. Kibana ポートレットについて
  - 3.2. アクター
  - 3.3. セットアップの手順について
- 4. Kibana の準備
  - 4.1. プラグインのインストール
- 5. intra-mart Accel Platform をセットアップする
  - 5.1. モジュールの選択
  - 5.2. 設定ファイルの編集
  - 5.3. Web Server の設定
  - 5.4. テナント環境セットアップ
- 6. ポータルの設定
  - 6.1. ポートレットの作成
  - 6.2. ポートレットのポータルへの追加
- 7. プラグインクラス
  - 7.1. KibanaAuthorizer
  - 7.2. KibanaFieldMapper
  - 7.3. KibanaFieldProvider
- 8. トラブルシューティング
  - 8.1. グラフが表示されない
  - 8.2. 絞り込み条件の取得に失敗する
- 9. 参考文献

変更年月日　変更内容

---

2017-04-01 初版

---

## 本書の目的

---

本書では Kibana ポートレット のセットアップ手順について説明します。

## 前提条件

---

以下の前提条件があります。

- リリースノートに記載されているシステム要件を満たしていること  
詳細は「[リリースノート](#)」 - 「[システム要件](#)」を参照してください。
- Kibana について理解していること

## 検証済み環境

---

以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

弊社では以下の環境をサポートしますが、intra-mart製品以外（OS、JDK、DB、Mailサーバ等）に起因する問題が発生した場合は保証致しかねます。

intra-mart	Elasticsearch	Kibana
intra-mart Accel Platform 2017 Spring(Portland)	1.7.3	4.1.2
Resin 4.0.50	2.0.0	4.2.0
PostgreSQL 9.6	2.1.0	4.3.1
Windows Server 2008 R2 Standard 64bit	2.2.0	4.4.0
	2.3.0	4.5.0
	2.4.0	4.6.0
	5.0.0	5.0.0
	5.0.1	5.0.1
	5.0.2	5.0.2
	5.1.1	5.1.1
	5.1.2	5.1.2
	5.2.0	5.2.0
	5.2.1	5.2.1

## 対象読者

---

以下の利用者を対象としています。

- Kibana ポートレット のセットアップを行う方

- 本書内で記載されている外部URLは、 2017年4月1日 現在のものです。
- 本書内の Kibana に関する説明は 2017年4月1日 現在のものです。
- Kibana ポートレット を利用する際の制限事項があります。  
詳細は [リンク先](#) を参照してください。

## 概要

### 項目

- [Kibana ポートレットについて](#)
  - [アクセス制御](#)
  - [フィールド名の変換](#)
  - [期間指定](#)
  - [絞り込み](#)
- [アクター](#)
- [セットアップの手順について](#)

## Kibana ポートレットについて

Kibana ポートレットは intra-mart Accel Platform を介して Kibana のグラフを表示する機能を提供します。

ブラウザから直接 Kibana にアクセスするのではなく、 intra-mart Accel Platform がリバースプロキシサーバとなり、アクセスを中継する方式をとります。

### アクセス制御

インデックス（スキーマ）、フィールド（列）、ドキュメント（行）に対するアクセス権のチェックを行い、権限のないデータは参照できないように制御することができます。 これを行うには後述の [プラグインクラス](#) を作成することが必要です。

### フィールド名の変換

フィールド名の多言語化等が可能です。 これを行うには後述の [プラグインクラス](#) を作成することが必要です。

### 期間指定

Kibana の標準機能では、グラフに表示するデータの期間を指定するのがグラフの設定をするときに限られています。 Kibana ポートレットでは、グラフを参照することしかできないユーザがグラフに表示されている期間の前後のデータを 参照できるように、表示期間を移動するためのアイコンを提供します。

表示している範囲を基準に、一重の矢印は半分の期間（下図の例では半年）、二重の矢印は表示している範囲（下図の例では1年）だけ 表示している期間を移動します。左向きの矢印は過去へ、右向きの矢印は未来へ移動します。

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

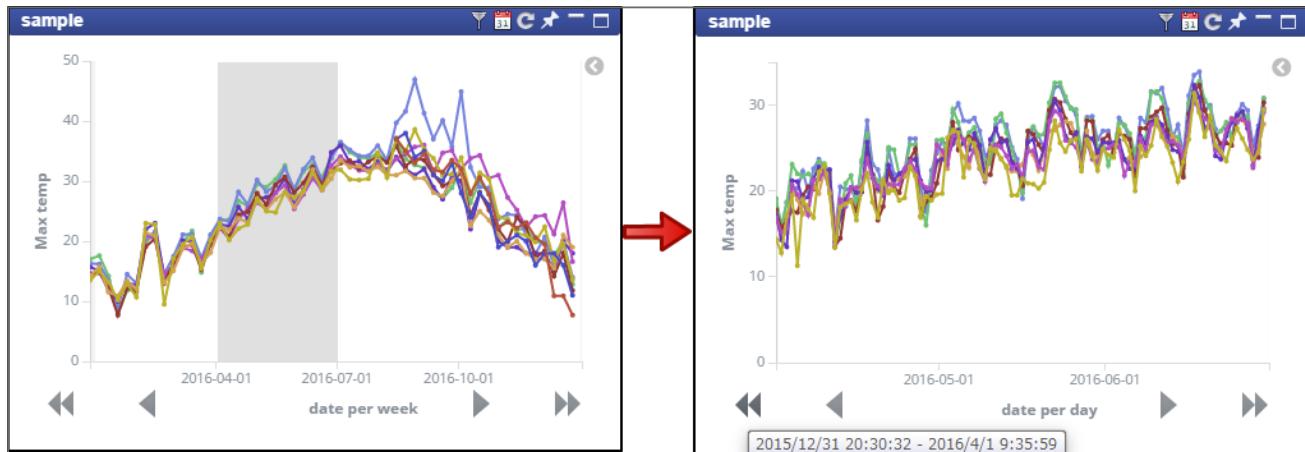
Powered by top ↑

また、Kibana が標準で提供している期間の選択肢を intra-mart Accel Platform 上でも提供します。

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by top ↑

intra-mart Accel Platform — Kibana ポートレットセットアップガイド 初版 2017-04-01  
なお、Kibana のグラフをドリルダウンすると、期間移動アイコンの移動期間はドリルダウンした期間に合わせて変化します。以下の例では4月1日頃から7月1日頃をマウスのドラッグで選択すると、グラフがドリルダウンした状態で表示されること、期間移動アイコンの移動範囲が更新されることを示しています。



## 絞り込み

Kibana の標準機能では、複数の表示データの中からいくつかのデータに絞り込んで グラフを表示するには Elastic Search のクエリを書かなければなりません。Kibana ポートレット では、あらかじめ設定を行うことで、表示しているグラフのデータを選択肢から選ぶことができます。下図の例では、いくつかの凡例のうち tokyo, yokohama のデータだけを表示しています。

This screenshot shows a Kibana dashboard with multiple components. At the top, there's a navigation bar with the 'intra-mart' logo, a 'Top' button, 'テナント管理' (Tenant Management), 'サイトマップ' (Site Map), a search bar, a 'tenant' dropdown, a help icon, and a refresh icon. Below the navigation is a 'リンク集' (Link Collection) section with links to the homepage and FAQ. The main area contains a 'sample' visualization showing 'Max temp' over time ('date per week'). A modal window titled '[sample] フィルタ' (Filter) is open, containing two tabs: 'area' and 'place'. The 'area' tab has checkboxes for 'すべて選択' (All selected), 'kanto', and 'kansai'. The 'place' tab has checkboxes for 'すべて選択' (All selected), 'yokohama', 'utsunomiya', 'tokyo' (which is checked), 'osaka', 'mito', 'maebashi', and 'kyoto'. A red arrow points from the 'tokyo' checkbox in the 'place' tab to the corresponding purple line in the graph. Another red arrow points from the 'filter' icon in the top right corner of the visualization area to the 'place' tab in the modal window. The bottom of the screen shows a copyright notice for NTT DATA INTRAMART CORPORATION and a 'Powered by intra-mart' logo.



## コラム

Kibana については、以下のサイトを参照してください。

- <https://www.elastic.co/jp/products/kibana> (日本語)
- <https://www.elastic.co/products/kibana> (English)

## アクター

本書では以下のように定義します。

- intra-mart Accel Platform システム管理者  
intra-mart Accel Platform 環境の管理者
- Kibana 管理者  
Kibana 環境の管理者

## セットアップの手順について

Kibana ポートレット のセットアップは以下の手順で行います。

1. *Kibana の準備*
2. *intra-mart Accel Platform をセットアップする*
3. *ポータルの設定*

Kibana ポートレットに必要なプラグインをインストールします。本項の内容は Kibana の管理者向けの作業です。

項目

- [プラグインのインストール](#)



注意

Kibana についての詳細は Elastic 社 のドキュメントを参照してください。

## プラグインのインストール

Kibana に Kibana ポートレット用のプラグインをインストールします。プラグインは、次の機能を提供します。

- [期間指定](#) をAjaxで実行する機能
  - プラグインをインストールしない場合、対象の期間のグラフ全体を再読み込みします。
- [絞り込み](#) 機能

これらの機能が不要な場合はプラグインのインストールは不要です。

1. 以下のURLよりプラグインをダウンロードします。Kibana 5.0.0 以降、そのバージョン向けに作成されたプラグインしか動作しません。

### Kibana のバージョン プラグイン

4.x	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-4.x.tar.gz</a>
5.0.0	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.0.zip</a>
5.0.1	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.1.zip</a>
5.0.2	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.2.zip</a>
5.1.1	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.1.1.zip</a>
5.1.2	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.1.2.zip</a>
5.2.0	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.2.0.zip</a>
5.2.1	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.2.1.zip</a>
5.2.2	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.2.2.zip</a>

2. ダウンロードしたファイルを Kibana をインストールしたディレクトリに保存します。

3. Kibana をインストールしたディレクトリで次のコマンドを実行し、インストールを行います。

### Kibana のバ-

### ジョン コマンド

4.x	<code>bin/kibana plugin -install kibana_iap_portlet_plugin -u file://./kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-4.x.tar.gz</code>
-----	---

**Kibana のバー**

ジョン	コマンド
5.x	<code>bin/kibana-plugin install file:./kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.0.zip</code>

**コラム**

5.x のコマンドで指定しているファイル名は Kibana 5.0.0 向けのものです。他のバージョンの Kibana にプラグインをインストールする場合は、対象のバージョン向けにダウンロードしたファイル名に置き換えた上でコマンドを実行してください。

4. インストールされたかどうかを確認するため、以下のようなURLへアクセスします。

- `http://{kibana-host}:{kibana-port}/status`
  - 例 : `http://kibana.example.com:5601/status`

5. `kibana_iap_portlet_plugin` が表示されていればインストールは成功です。

Status Breakdown	
ID	Status
ui settings	✓ Ready
plugin:kibana@5.0.0	✓ Ready
plugin:elasticsearch@5.0.0	✓ Kibana index ready
plugin:kibana_iap_portlet_plugin@5.0.0	✓ Ready
plugin:console@5.0.0	✓ Ready
plugin:timelion@5.0.0	✓ Ready

intra-mart Accel Platform システム管理者 向けの作業です。 intra-mart Accel Platform のセットアップは「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」を参照してください。 ここでは追加で必要な手順を説明します。

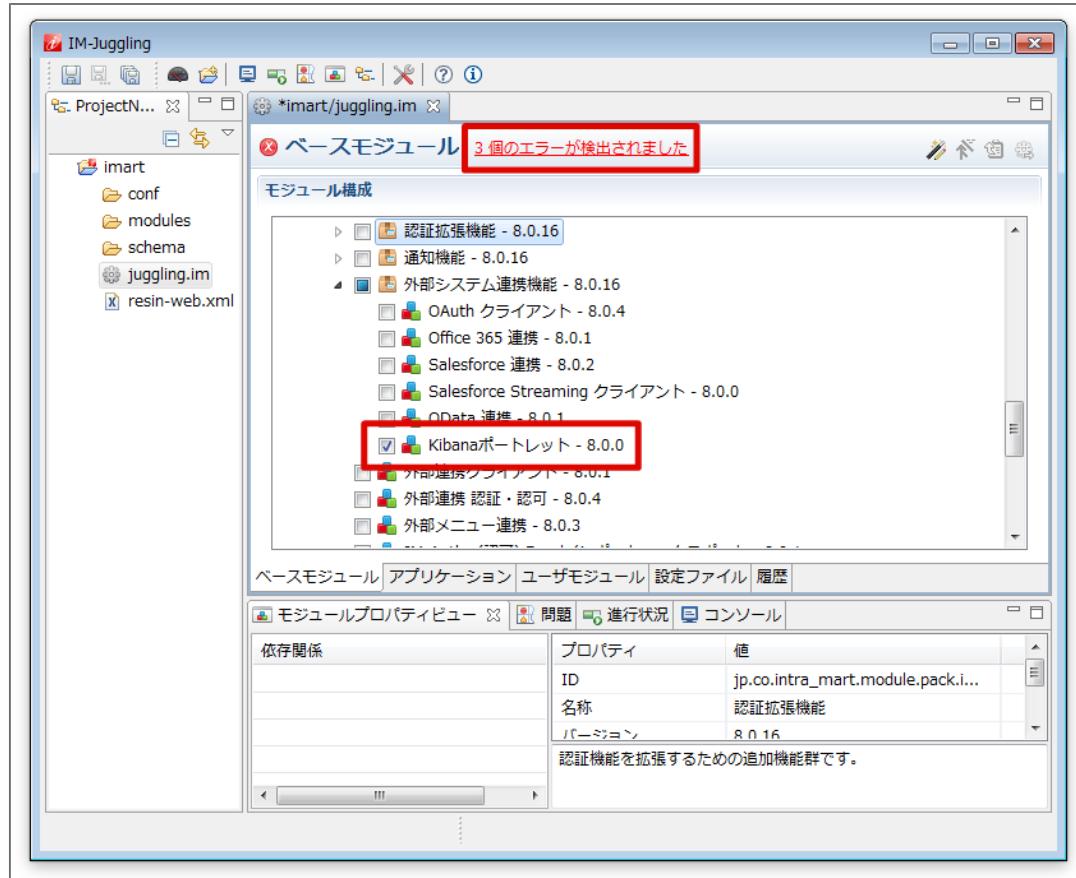
項目

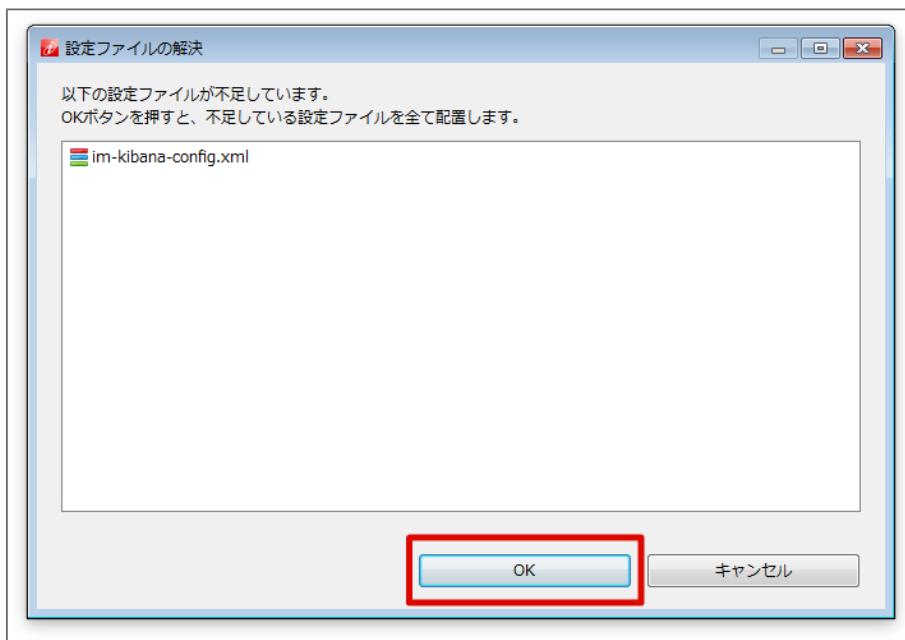
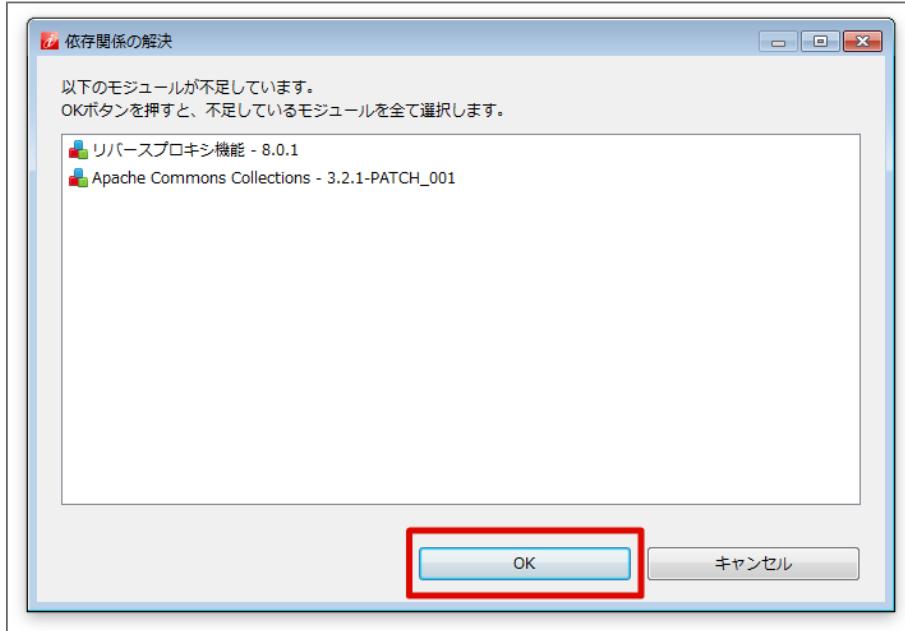
- モジュールの選択
- 設定ファイルの編集
  - Kibana ポートレット 設定ファイルの確認
- Web Server の設定
  - Apache HTTP Server
  - Internet Information Services (IIS)
- テナント環境セットアップ

## モジュールの選択

「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「プロジェクトの作成とモジュールの選択」より、Kibana ポートレット を選択します。

Kibana ポートレット を選択した際、画面上部にエラーメッセージが表示されている場合、エラーメッセージリンクをクリックして、依存関係を解決したり、設定ファイルの解決より設定ファイルをプロジェクトに配置したりしてください。





## 設定ファイルの編集

Kibana ポートレットを利用するための設定ファイルを編集します。 設定ファイルの詳細については「[設定ファイルリファレンス](#)」 - 「[設定ファイルリファレンス - Kibanaポートレットの設定](#)」を参照してください。

1. 「ProjectNavigator」内の < (プロジェクト名) /im-kibana-config/kibana-config.xml> ファイルをダブルクリックで開き、「ソース」タブを選択してください。
2. 「kibana-config」の「id」属性に任意のIDを指定してください。

```
<im-kibana-config>
<kibana-config id="sample">
  ...
</kibana-config>
</im-kibana-config>
```

3. 「root-url」に接続先の Kibana のURLを、「version」に接続先の Kibana のバージョン番号を指定します。

```
<im-kibana-config>
<kibana-config id="sample">
<root-url>http://kibana.example.com:5601</root-url>
<version>5.2.1</version>
</kibana-config>
</im-kibana-config>
```

## Kibana ポートレット 設定ファイルの確認

Kibana ポートレット 設定ファイルの例を以下に示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<im-kibana-config
  xmlns="http://www.intra-mart.jp/system/im-kibana/config/im-kibana-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.intra-mart.jp/system/im-kibana/config/im-kibana-config ..../schema/im-
kibana-config.xsd ">

<kibana-config-list>
  <kibana-config id="sample">
    <root-url>http://localhost:5601</root-url>
    <kibana-version>5.2.1</kibana-version>
  </kibana-config>
</kibana-config-list>
</im-kibana-config>
```

## Web Server の設定

Web Server を利用している場合、追加で設定を行う必要があります。 Web Server の設定の詳細は [Web Server](#) を参照してください。

### Apache HTTP Server

Apache設定ファイルの編集 での設定に `RewriteCond %{REQUEST_URI} !^/imart/kibana/` を追記します。

```

AllowEncodedSlashes On
RewriteEngine On
RewriteCond %{REQUEST_URI} !^/imart/reverse_proxy/
RewriteCond %{REQUEST_URI} !^/imart/kibana/
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.gif|.*\.GIF)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.png|.*\.PNG)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.jpg|.*\.JPG)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.css|.*\.CSS)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.js|.*\.JS)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.swf|.*\.SWF)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.ico|.*\.ICO)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.json|.*\.JSON)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.jar|.*\.JAR)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.xml|.*\.XML)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.yaml|.*\.YAML)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.txt|.*\.TXT)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.html|.*\.HTML|.*\.htm|.*\.HTM)$
RewriteRule ^/imart/(.*)? $ /imart/$1

```

```

ProxyPreserveHost On
ProxyPass /imart/ http://192.168.1.1:8080/imart/ nocanon
ProxyPassReverse /imart/ http://192.168.1.1:8080/imart/ nocanon
ProxyTimeout 1200

```

## Internet Information Services (IIS)

Internet Information Services (IIS) での設定に `(?!kibana/)` を追記します。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<configuration>
  <system.web>
    <httpRuntime maxRequestLength="102400" requestPathInvalidCharacters="" />
    <customErrors mode="Off" />
  </system.web>
  <system.webServer>
    <security>
      <requestFiltering>
        <requestLimits maxAllowedContentLength="104857600" />
      </requestFiltering>
    </security>
    <httpErrors errorMode="Detailed" />
    <rewrite>
      <rules>
        <clear />
        <rule name="ReverseProxyInboundStatic" stopProcessing="true">
          <match url="^imart/(?!reverse_proxy)(?!kibana)(.*\.gif|.*\.png|.*\.jpg|.*\.css|.*\.js|.*\.swf|.*\.ico|.*\.json|.*\.jar|.*\.xml|.*\.yaml|.*\.txt|.*\.html|.*\.htm)$" />
          <action type="None" />
        </rule>
        <rule name="ReverseProxyInboundDynamic" stopProcessing="true">
          <match url="^imart/(.*)" />
          <action type="Rewrite" url="http://192.168.1.1:8080/imart/{R:1}" />
        </rule>
      </rules>
    </rewrite>
  </system.webServer>
</configuration>

```

## テナント環境セットアップ

---

- テナント環境セットアップについては、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。

ポータルに Kibana ポートレットのグラフを表示するポートレットを追加します。本項の内容は intra-mart Accel Platform のテナント管理者向けの作業です。本項では簡単のためグループポータルに Kibana ポートレットのポートレットを追加します。

### 項目

- ポートレットの作成
- ポートレットのポータルへの追加



### 注意

ポータルについての詳細は「[ポータル管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

## ポートレットの作成

ポートレットを作成します。

1. グローバルナビから「テナント管理」 - 「ポータル管理」 - 「ポートレット一覧」をクリックします。
2. 「ポートレット一覧」画面で、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'Portlet List' page of the intra-mart Accel Platform. At the top, there is a navigation bar with links for 'Top', 'Tenant Management', and 'Site Map'. On the right side of the navigation bar are search, tenant selection, and help icons. Below the navigation bar, the title 'Portlet List' is displayed. In the center, there is a table listing various portlets. The first column contains edit and configuration icons. The second column is labeled 'Setting' and the third is 'Application'. The fourth column is 'Name' and the fifth is 'Description'. The last two columns are 'Access' and 'Public'. A red box highlights the 'New Registration' button (新規登録) located at the top left of the table area. At the bottom of the page, there is a pagination control with buttons for navigating between pages.

編集	設定	アプリケーション	名称	説明	アクセス	公開
		Google	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		RSS	intra-mart topix RSS	intra-mart topix RSS です。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		リンク集	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		インターネット	インターネット	Webクリッピングポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		リッチテキスト	リッチテキスト	リッチテキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		システム	重要なお知らせ	システムからのお知らせ情報です。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	申請ポートレット	IM-Workflowの申請ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	新着処理ポートレット	IM-Workflowの新着処理ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

3. 「ポートレット新規登録」画面で「Kibana Visualizeポートレット」リンクをクリックします。

ポートレット名 説明

非同期ページポートレット	これは、非同期ページポートレットです。
Google Gadgetポートレット	これは、Google Gadgetポートレットです。
Htmlポートレット	これは、Htmlポートレットです。
インターネットポートレット	これは、インターネットポートレットです。
JavaEE開発モデルポートレット	これは、JavaEE開発モデルポートレットです。
Servlet Jsp ポートレット	これは、Servlet Jsp ポートレットです。
Kibana Visualizeポートレット	これは、KibanaのVisualizeを1つ表示するポートレットです。
リンク集ポートレット	これは、リンク集ポートレットです。
スクリプト開発モデルポートレット	これは、スクリプト開発モデルポートレットです。
RSS ポートレット	これは、RSS ポートレットです。
重要なお知らせポートレット	これは、重要なお知らせポートレットです。

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION      Powered by top ↑

4. 必要な項目を入力し「登録」ボタンをクリックするとダイアログが表示されるので、「決定」ボタンをクリックします。

- ここではポートレット名を「sample」としました。
- アプリケーションは必須ではありませんが、ポートレット一覧画面での検索性を高めるため「Kibana」を指定しています。

ポートレット新規登録

戻る

基本設定

ポートレット名	Kibana Visualizeポートレット	
名称*	日本語*	sample
	英語*	sample
	中国語(中華人民共和国)*	sample
アプリケーション	日本語	Kibana
	英語	Kibana
	中国語(中華人民共和国)	Kibana

オプション設定

タイトルの表示*	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない	
公開フラグ*	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	
ポートレットの説明	日本語	
	英語	
	中国語(中華人民共和国)	
表示先ポータル種別	<input checked="" type="checkbox"/> ユーザポータル <input checked="" type="checkbox"/> グループポータル	

登録

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by top ↑

- 「ポートレット一覧画面」に戻るので、追加したポートレットの「アクセス権限設定」アイコンをクリックします。

The screenshot shows a list of portlets with columns for 编集 (Edit), 設定 (Setting), アプリケーション (Application), 名称 (Name), 説明 (Description), アクセ (Access), and 公開 (Public). The 'sample' portlet, which is a Kibana application, has its 'Access' checkbox highlighted with a red box.

編集	設定	アプリケーション	名称	説明	アクセ	公開
		Google	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		RSS	intra-mart topix RSS	intra-mart topix RSS です。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		Kibana	sample		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		リンク集	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		インターネット	インターネット	Webクリッピングポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		リッチテキスト	リッチテキスト	リッチテキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		システム	重要なお知らせ	システムからのお知らせ情報です。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	申請ポートレット	IM-Workflowの申請ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	新着処理ポートレット	IM-Workflowの新着処理ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

6. 「アクセス権設定」ウィンドウが開くので、適切な権限を設定してください。設定し終わったらウィンドウを閉じてください。

- ここではログイン済みユーザに対して表示可能と設定しました。

The screenshot shows a grid-based configuration interface for setting access rights. The columns represent various roles: Guest User, Registered User, Tenant Manager, Approved Manager, Menu Manager, Menu General Manager, Account Manager, Role Manager, Calendar Manager, Job Scheduler Manager, IM General Manager, IM General Manager, and Portlet Manager. The rows define the scope of access: 'リソース' (Resource) and 'ポートレット' (Portlet). A specific row for the 'sample' portlet is selected, showing its current access status across all roles.

7. 「ポートレット一覧画面」の、追加したポートレットの「設定」アイコンをクリックします。

The screenshot displays a list of portlets. The 'Kibana' portlet is highlighted with a red box around its settings icon (a gear symbol). The table includes columns for 编集 (Edit), 設定 (Setting), アプリケーション (Application), 名称 (Name), 説明 (Description), アクセ (Access), and 公開 (Public).

編集	設定	アプリケーション	名称	説明	アクセ	公開
		Google	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		RSS	intra-mart topix RSS	intra-mart topix RSS です。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		Kibana	sample		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		リンク集	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		インターネット	インターネット	Webクリッピングポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		リッチテキスト	リッチテキスト	リッチテキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		システム	重要なお知らせ	システムからのお知らせ情報です。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	申請ポートレット	IM-Workflowの申請ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	新着処理ポートレット	IM-Workflowの新着処理ポートレットです。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

8. 「設定ポータル」画面が表示されるので、必要な項目を入力・選択します。

URLで設定

ポートレットに表示したい Kibana のグラフのURL

KibanaID

設定ファイルの編集 で指定したID

デフォルトの高さ(px)

ポートレットのデフォルトの高さ

絞り込み項目

ポートレットに表示するグラフの絞り込み対象

The screenshot shows the 'sample' configuration page. The 'KibanaID' field is set to 'sample'. The 'Default Height (px)' field contains '300'. Under 'Filtering Fields', 'rain (rain)', 'temp (temp)', 'wind\_direction (wind\_direction)', 'pressure (pressure)', 'weather (weather)', 'humidity (humidity)', 'wind (wind)', and 'date (date)' are selected on the left, while 'area (area)' and 'place (place)' are selected on the right. At the bottom, there are 'Preview' and 'Update' buttons.

- 「プレビュー」ボタンをクリックし、期待したグラフが表示されるかどうかを確認します。

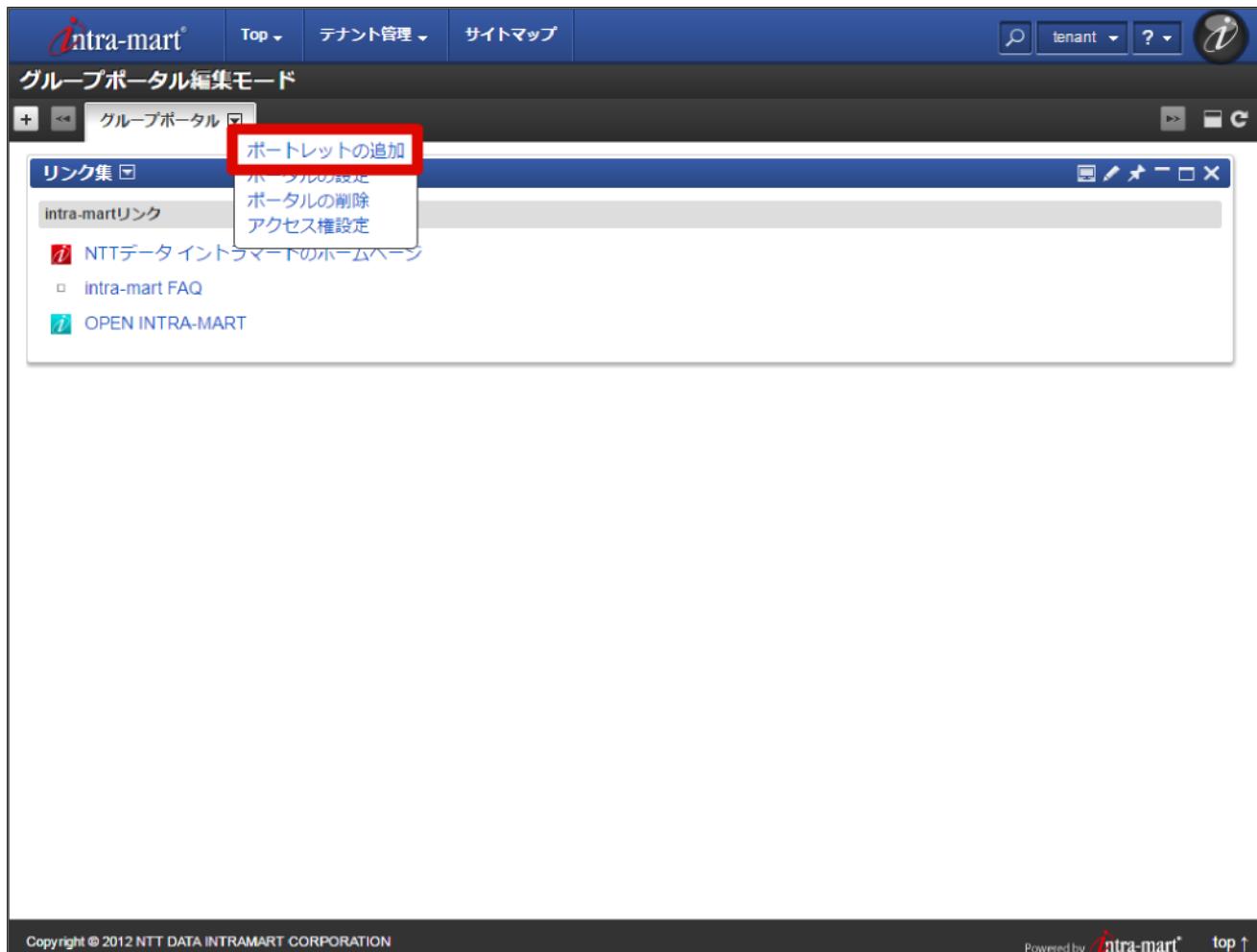
The screenshot shows the 'sample' visualization editor. A red arrow points from the 'Preview' button (button labeled 'プレビュー') to a floating preview window. The preview window displays a line chart titled 'Max temp' over time ('date per week') from February 2016 to November 2016. The chart tracks maximum temperature for nine locations: maebashi (green), kumagaya (blue), tokyo (purple), yokohama (pink), utsunomiya (brown), chiba (orange), mito (yellow-green), kyoto (dark blue), and osaka (red). The chart shows a general upward trend from February to August, followed by a decline towards November.

10. 問題がなければ「更新」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the same visualization editor after saving changes. A green message bar at the top right says '更新しました' (Updated). The 'Preview' button is highlighted with a red box. The visualization settings remain the same as in the previous step, including the Kibana ID 'sample', height '300', and the 'rain (rain)' field selected in the 'Ingestion' section. The 'Preview' and 'Update' buttons are visible at the bottom.

これでポートレットの作成は完了です。

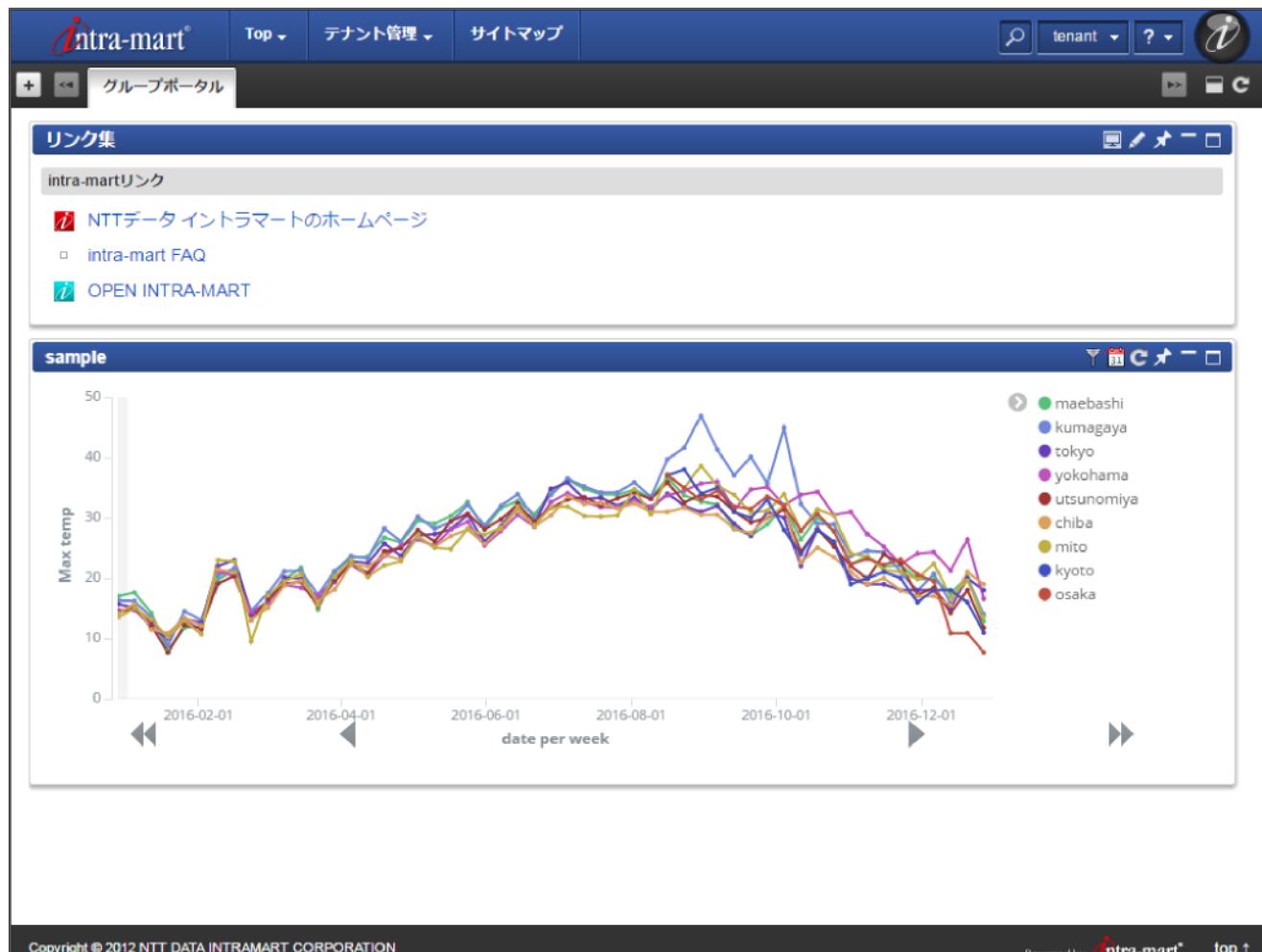
- グローバルナビから「テナント管理」 - 「グループポータル管理」をクリックします。
- グループポータルのコンテキストメニューから「ポートレットの追加」をクリックします。



- ポートレット一覧から先ほど作成したポートレットのチェックボックスをチェックし、「追加」ボタンをクリックします。



- 「グループポータル編集モード」画面が再描画され、指定したポートレットが追加されたことがわかります。



所定の抽象クラスを継承した Java クラスを作成し、設定ファイルに記述することによって、モジュールの動作をカスタマイズすることができます。作成した Java クラス名を設定ファイルに記述し、Java クラスと共に war ファイルに含めてデプロイを行うと使用することができます。設定ファイルへの記述は [設定ファイルリファレンス - Kibanaポートレットの設定](#) を参照してください。

なお、下記のメソッド引数にある *Map<String, Object> customConfig* には、ポートレット設定画面の「拡張項目」に設定したカスタムフィールドのパラメータが受け渡されます。

## KibanaAuthorizer

Kibana のインデックス、フィールド、ドキュメントに対するアクセス権チェックを行います。

```
/**  
 * + Kibana連携のアクセスチェックを行う抽象クラスを継承したクラスです。  
 * * このクラスは全てのアクセスを許可します。  
 */  
public class SampleAuthorizer extends KibanaAuthorizer {  
  
    /**  
     * ドキュメントのアクセス権制御に使用される暗黙の絞り込み条件を取得します。<br/>  
     *  
     * Kibana (Elasticsearch) の各ドキュメント（行）に、アクセス権制御用のフィールドが存在することが前提で  
     * す。  
     *  
     * 返り値として、絞り込み条件のクエリを返します。アクセス権制御が不要な場合は、null を返します。  
     *  
     * 絞り込み条件は、Lucene のクエリフォーマット  
(https://lucene.apache.org/core/2\_9\_4/queryparsersyntax.html) で記述します。  
     *  
     * 例:  
     * <pre>  
     * # フィールドrole_id の値がR1 または R2  
     * role_id: R1 OR role_id: R2  
     * </pre>  
     *  
     * @param indexPattern インデックスパターン  
     * @param customConfig カスタム項目  
     * @return クエリ条件  
     * @throws IOException 入出力エラーが発生した  
     */  
@Override  
public String getEssentialQuery(final String indexPattern, final Map<String, Object> customConfig) {  
    return null;  
}  
  
    /**  
     * 指定されたフィールドにアクセスできるかどうかを確認します。  
     *  
     * @param indexPattern インデックスパターン  
     * @param field フィールド名  
     * @param customConfig カスタム項目  
     * @return アクセス可能ならばtrue、不可能ならばfalse を返します。  
     * @throws IOException 入出力エラーが発生した  
     */  
@Override
```

```
public boolean validateField(final String indexPattern, final String field, final Map<String, Object> customConfig) {
    return true;
}

/**
 * 指定されたインデックスパターンにアクセスできるかどうかを確認します。
 *
 * @param indexPattern インデックスパターン
 * @param customConfig カスタム項目
 * @return アクセス可能ならばtrue、不可能ならばfalseを返します。
 * @throws IOException 入出力エラーが発生した
 */
@Override
public boolean validateIndex(final String indexPattern, final Map<String, Object> customConfig) {
    return true;
}
```

## KibanaFieldMapper

---

Kibana のフィールド名の物理名（Kibana 側に登録された名称）と論理名（Kibana ポートレットに表示される名称）の変換を行います。

```

/**
 * Kinabaフィールド名の論理名と物理名の変換を行うフィールドマッパーの抽象クラスを継承したクラスです。
 * フィールド名の変換を行わないフィールドマッパークラスです。
 */
public class SampleFieldMapper extends KibanaFieldMapper {

    /**
     * 物理名を元に論理名を取得します。
     * @param indexPattern インデックスパターン
     * @param physicalName 論理名
     * @param locale ロケール
     * @param customConfig カスタム設定
     * @return 論理名
     */
    @Override
    public String getLogicalName(final String indexPattern, final String physicalName, final Locale locale,
final Map<String, Object> customConfig) {
        return physicalName;
    }

    /**
     * 論理名を元に物理名を取得します。
     * @param indexPattern インデックスパターン
     * @param logicalName 論理名
     * @param locale ロケール
     * @param customConfig カスタム設定
     * @return 物理名
     */
    @Override
    public String getPhysicalName(final String indexPattern, final String logicalName, final Locale locale,
final Map<String, Object> customConfig) {
        return logicalName;
    }
}

```

## KibanaFieldProvider

---

Kibana のフィールドのリストを提供します。

Kibana ポートレット設定画面の絞り込み条件の取得などで利用されます。

```
/**  
 * Kibanaのフィールド名を提供するフィールドプロバイダのクラスです。  
 * Kibanaにアクセスして取得したフィールドを使用するフィールドプロバイダのクラスです。  
 */  
public class SampleFieldProvider extends NativeFieldProvider {  
  
    /**  
     * フィールド名のリストを返します。  
     * @param kibanald Kibana連携の設定ファイルに指定したID  
     * @param indexPattern インデックスパターン  
     * @param customConfig カスタム設定  
     * @return フィールド名のリスト  
     * @throws IOException 入出力エラーが発生した  
     */  
    @Override  
    public List<KibanaField> getFieldNameList(final String kibanald, final String indexPattern, final  
Map<String, Object> customConfig) throws IOException {  
    return super.getFieldNameList(kibanald, indexPattern, customConfig);  
}  
}
```

Kibana ポートレット の利用中に発生するトラブルと対応方法を紹介します。 対象の事象リンクをクリックして確認してください。

## グラフが表示されない

---

### 項目

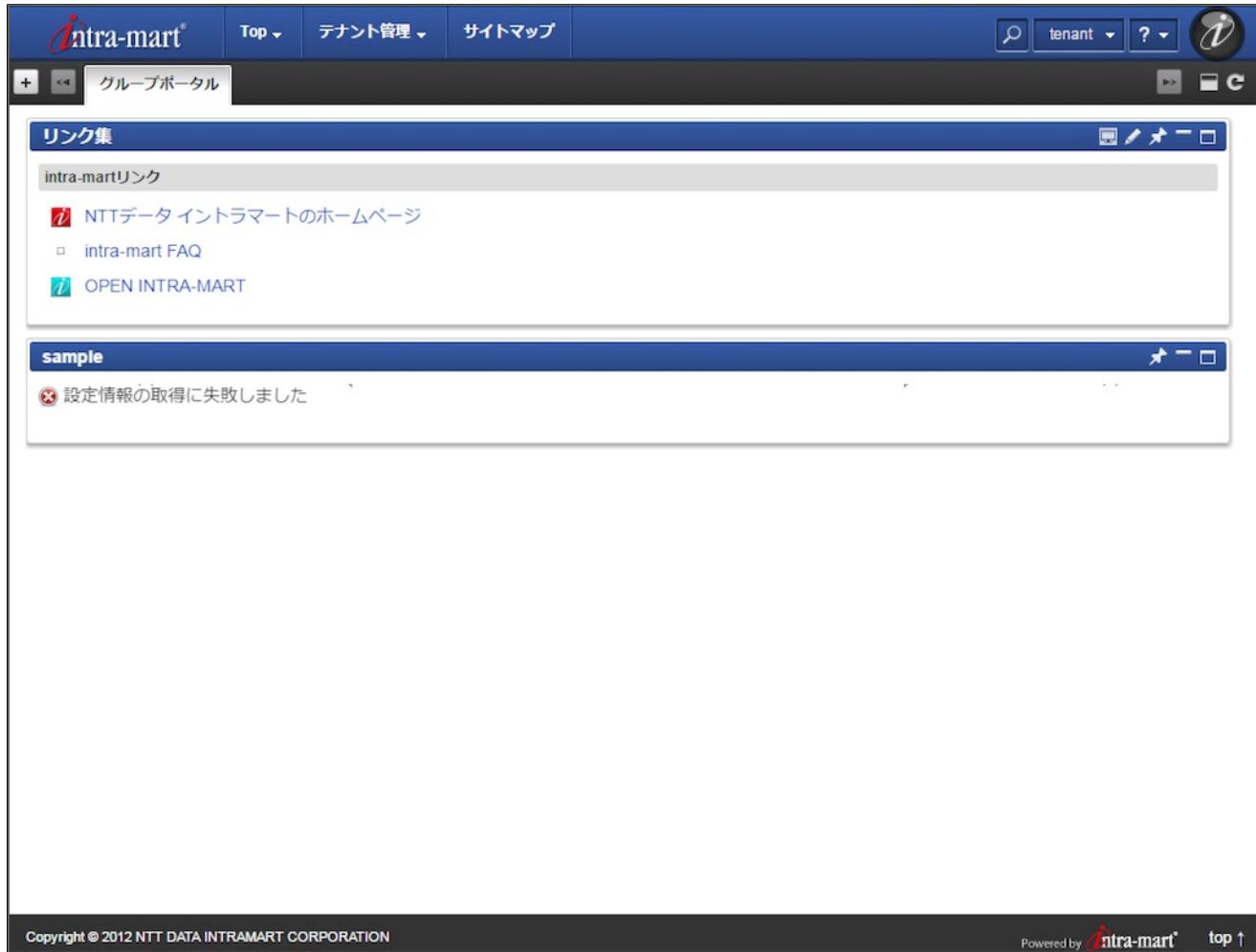
- 「設定情報の取得に失敗しました」とエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法
- Status Breakdown という Kibana のエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法
- Kibana did not load properly. という Kibana のエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法

### 「設定情報の取得に失敗しました」とエラーが表示される

---

#### 現象

ポートレットを表示しようとした際に以下のような画面が表示されます。



## 原因

Kibana や Elasticsearch への接続に失敗している可能性があります。

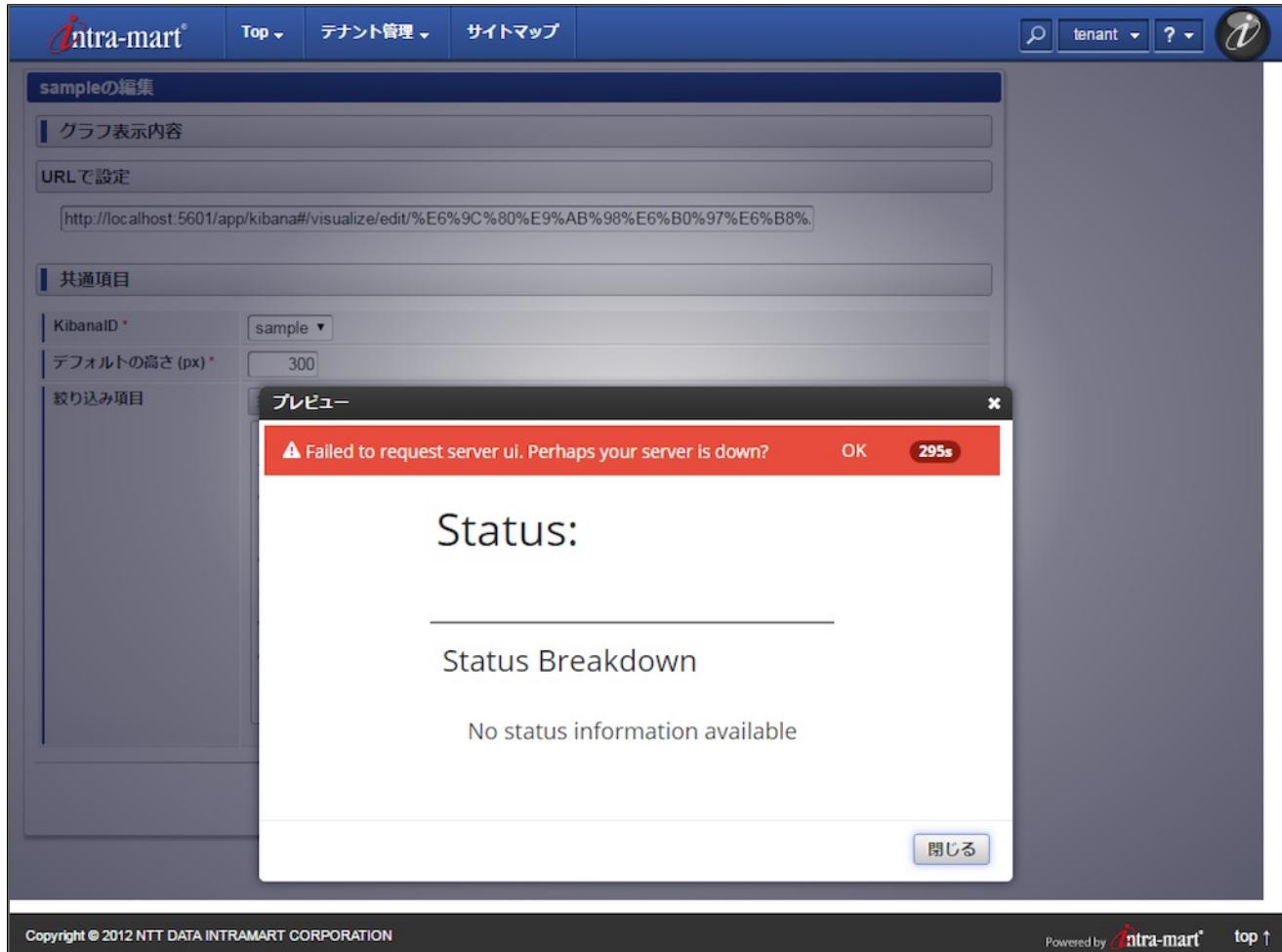
## 対応方法

サーバに出力されているログから、エラーが発生している原因を確認してください。

## Status Breakdown という Kibana のエラーが表示される

### 現象

「テナント管理」「ポータル管理」「ポートレット一覧」「Kibana Visualizeポートレット」でプレビューボタンをクリックすると、Kibana のエラーが表示される。



## 原因

Elasticsearchへの接続に失敗している可能性があります。

## 対応方法

サーバに出力されているログから、エラーが発生している原因を確認してください。

## Kibana did not load properly. という Kibana のエラーが表示される

## 現象

「テナント管理」「ポータル管理」「ポートレット一覧」「Kibana Visualizeポートレット」でプレビューボタンをクリックしたり、ポートレットを表示しようとした際に以下のような画面が表示されます。



## 原因

*Web Server の設定* が不足している可能性があります。

## 対応方法

*Web Server の設定* が行われているかどうかを確認してください。

## 絞り込み条件の取得に失敗する

### 項目

- 「絞り込み項目の取得に失敗しました」とエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法

「絞り込み項目の取得に失敗しました」とエラーが表示される

## 現象

絞り込み条件ダイアログを表示しようとした際に以下のような画面が表示されます。



不正な絞り込み条件を指定している可能性があります。

## 対応方法

Kibana Visualize ポートレットの「設定ポータル」画面で「絞り込み項目の取得」ボタンをクリックし、正しい絞り込み項目を指定し直してください。

リンク先は 2017年4月1日 時点で情報を確認しています。

- 「Kibana」  
<https://www.elastic.co/products/kibana> (English)  
<https://www.elastic.co/jp/products/kibana> (日本語)
- 「Elastic Search」  
<https://www.elastic.co/products/elasticsearch> (English)  
<https://www.elastic.co/jp/products/elasticsearch> (日本語)